

今後の進め方について

令和5年11月29日 有識者検討会議（第1回）

- 北海道新幹線札幌延伸と北海道における物流をめぐる状況等について

令和6年3月頃 有識者検討会議（第2回）

- 関係者からのヒアリング

- 以降、3～4ヶ月に1回程度、本会議を開催
- 課題（テーマ）に応じた関係者（荷主企業、利用運送事業者、運送事業者（トラック輸送、海上輸送等）等）からのヒアリングを行い、
 - (1) 現在の貨物鉄道機能を維持することとした場合
 - (2) 現在の鉄道貨物輸送の役割を船舶等へ全量代替する場合等の利点や課題等を整理

令和7年3月目途 中間とりまとめ

- 中間とりまとめを踏まえ、個別の課題の解決方策について具体的に精査・検討

令和8年3月目途 最終的な結論

※海線における地域交通のあり方については、北海道新幹線並行在来線対策協議会渡島ブロック会議において、令和7年度までに方向性を決定する予定。